

全道高校ラグビー 南・北決勝

富良野 打倒遠軽 8年ぶりだ

全道高校ラグビー南・北選手権の決勝が22日、中標津町運動公園で行われる。北大会で8年ぶり優勝を狙う富良野は21日、約2時間の軽め調整。遠軽に敗れた昨年の決勝に加え、今夏の高校野球北大会準決勝で敗れた野球部の分まで、リベンジを誓った。遠軽と南大会の札山の手、函ラサールも軽めの練習を行った。

◎全道高校ラグビー南・北選手権◎
 【南決勝】 午～ 札山の手VS函ラサール
 正 【北決勝】 遠 軽VS富 良 野
 午後1時30分～

らチームの意識も変わった。遠軽対策も「一人てな」とまとまって戦え」と谷崎監督から伝授。2000、04年が優勝、08年は準優勝と五輪イヤーに強い縁起の良さもある。「今年もそういう年。60分間にラグビー人生を懸

けてミスを起こした」と坂口監督。宿敵に全てをぶつけてリベンジを果たす。
 (星国典)

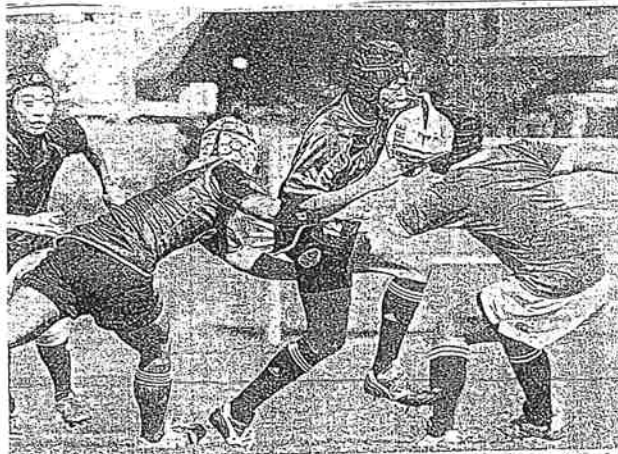
「引き出しある」
 ○：富良野の返り討ちに山内宣明監督(44)が自信を見せた。「60分間で何度かやられることがあっても、チームにはいろいろ引き出しがある」。モーター中心が予想される富良野の攻撃にも、選手たちの対応力を信じて臨む。約2時間の前日調整(21日)後は、別海の温泉施設でリラクセス。PR佐竹優哉主将(3年)は「決勝はいつもより気持ちをに入れて圧倒したい」と3連覇へ力を込めていた。

野球部の大反撃

打倒・遠軽へ仲間たちの思いも背負って戦う。北大会で初の甲子園出場を狙った野球部は、遠軽に1-8で完敗。「学校で『遠軽だけは勝ってくれ』と言われるんです」。坂口和紀監督(33)は甲子園から花園へ替わった期待をヒシヒシと感している。

東福岡 谷崎監督の教え生かす!

B四釜原太主将(3年)は「野球部から『オレらの分も』と言われている」と思いをしっかりと受け止めた。先月半ばには、東福岡を4度全国優勝に導いた谷崎重幸総監督(54)らが3日間指導。「ボールを1億円と想って大事に扱え」など分かりやすい指導で日本一の秘訣(ひけつ)を吸収。「ミスが多いと負けるし、ボールを落とさない大切さを学んだ」と四釜主将



富良野フィフティーンは打倒遠軽に燃え、最終調整に汗を流した

道新スポーツ 9/22(土)